

(9) 教育費

事業名	英語指導員招致事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		学事係		目	02	事務局費	
事業費				13,992,909 円	事業の目的・目標	市内小中学校の外国語教育の充実を図るため、外国から指導助手を招致し、外国語指導を行うことを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他			7,008,220 円				
	一般財源			6,984,689 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

外国語指導助手が市内全小中学校を巡回訪問し、英語指導を行った。生の英語に接することで、英会話への意欲・ヒアリング能力・英会話能力の向上につながり、児童生徒が積極的にコミュニケーションを図るなどの姿が見られた。また、休み時間や給食時間なども児童生徒と共に過ごし、授業時間以外の生活時間を通じて、外国への興味・関心が高まり、国際的視野を広げる等の効果があった。

●小学校・学年別訪問授業時数 503 時間 (単位：時間)

	郷田小	渡津小	江津東小	川波小	津宮小	高角小	桜江小
1年生	1	2		6		5	
2年生		2		6	2	6	
3年生		3	1	7		4	1
4年生		3	1	7		2	2
5年生	20	30	31	28	36	53	27
6年生	20	30	28	28	36	27	25
特別支援学級				5		3	
その他全校行事等	2					4	9
合計	43	70	61	87	74	104	64

●中学校・学年別訪問授業時数 987 時間

	江津中	江東中	青陵中	桜江中
1年生	86	47	123	53
2年生	129	43	105	50
3年生	90	39	91	49
特別支援学級	20	28	34	
合計	325	157	353	152

○事業の実績

費目	決算額 (円)	備考
報酬	9,040,613	外国語指導助手報酬 (4月～7月2名、8月以降3名)
共済費	1,428,269	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
報償費	5,980	帰国記念品
旅費	796,106	市内旅費・帰国旅費
需用費	66,415	授業用消耗品ほか
役務費	115,910	傷害保険料 (3名分) ほか
使用料及び賃借料	1,921,100	住宅借上料・自動車リース料
負担金補助及び交付金	618,516	自治体国際化協会負担金 ほか
合計	13,992,909	

事業名	江津市教育研究会助成事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		管理係		目	02	事務局費	
財源内訳	事業費		5,851,000 円		事業の目的・目標	「生きる力」をはぐくむ教育を実践するため、教科部会・専門部会等により組織的活動や各種事業を行い、本市の教育の発展に寄与する。		
	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		5,000,000 円					
	その他		円					
一般財源		851,000 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容および実績

●小学校外国語活動充実事業

①小学校外国語活動先進校視察 ①山口県防府市立富海小中学校

②雲南市立吉田小学校

計16名参加

②研修会の実施 ①郷田小学校 公開授業 (H28.12.8) ②江津東小学校 公開授業 (H29.1.25)

③小学校英語活動実践研究大会へ参加し、教員の資質向上を図る

H29.2.3~4 京都府京都市 参加者2名

●中学生キャリア教育推進事業 (H28.8.1 市民センター)

「輝いて生きる」～夢は実現するためにある～

講師 チベット音楽家 バイマーヤンジン 対象 市内中学生 608人

●島根県教育研究大会 (江津大会)

・実施日時及び場所

H28.10.28 江津市立江津中学校、渡津小学校、郷田小学校、高角小学校の4校にて実施

・実施内容

県大会主題「未来に向けて夢と希望を育む学校教育の創造～ふるさと島根に根ざし、共に生きようとする児童徒の育成～」並びに江津大会主題「ふるさと江津に誇りをもち、豊かなかわりの中で、よりよく生きようとする児童・生徒の育成」のもと、公開授業及び課題別発表分科会を行った。

本大会は、市教育研究大会を兼ね、市内幼小中学校の全教職員の参加を合わせ、総勢400名にもものぼり、授業分科会、課題別分科会共に熱心な議論が行われた。

●事業費用

項目	決算額(円)
1. 島根県小学校校長会負担金補助	147,000
2. 島根県中学校校長会負担金補助	84,000
3. 島根県幼稚園教育研究会・全国国公立幼稚園長会負担金	19,000
4. 生徒指導研修会補助金	20,000
5. 島根県教育研究会各教科・専門部補助金	236,000
6. 江津市教育研究会研究補助	330,000
7. 児童文化振興費補助金	209,000
8. 小中音楽会児童生徒輸送費、楽器運送費会場借上料補助	350,000
9. 教職員研修会補助金	10,000
10. 校内研修会補助金	36,000
11. 江津市学校保健会補助金	160,000
12. 島根県学校保健会補助金	20,000
13. 「江岸の子ら」編集補助	230,000
14. 江津市中学生英語ワークショップ事業費補助金	160,000
15. 江津市中学校職場体験事業補助金	120,000
16. 総合学習に伴う補助金 (小・中)	495,000
17. 総合学習に伴う補助金 (幼)	18,000
18. 江津市小中学校資質向上研修補助	800,000
19. 中学校キャリア教育推進事業	1,000,000
20. 小学校外国語活動充実事業補助	510,000
21. 情報講習会開催補助金	450,000
22. 県教育研究大会補助(江津大会)	200,000
23. 人権・同和教育推進活動費	247,000
合計	5,851,000

○事業の効果

教育の充実は、直接の担い手である教員の資質能力に負うところが極めて大きい。そしてその能力は研修等を通じて生涯にわたり形成されていくものであり、本事業はその意味において重要である。

事業名	不登校等支援事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		学事係		目	02	事務局費
事業費			8,660,711 円	事業の目的・目標	あおぞら学園において、不登校及び不登校傾向の児童生徒の教育相談や学習支援を行い、学校生活への復帰を支援するとともに、不登校の中でも、家に引きこもっていることが多い児童生徒に対しては、家庭訪問や安心して過ごせる居場所を提供する等の支援を行い、学校復帰（社会復帰）のきっかけを作る。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		5,916,591 円				
	一般財源		2,744,120 円				

施策の内容、実績、及び効果

1. 教育支援センター（適応指導教室）運営事業

○事業の内容

- 運営体制 教科指導員6名・指導員5名
- 開設場所 あおぞら学園（江津保健センター内）
- 開設状況 曜日：月～金曜日 時間：9：30～16：00
- 主な内容 不登校児童生徒の在籍校、家庭や関係機関と連携しながら、集団生活への適応、基本的な生活習慣の改善等に取り組み、学校復帰への支援を行う。

- ##### ○事業効果
- ・ 集団生活や学習に取り組む活動支援を実施した結果、週1時間以上の登校ができるようになった。
 - ・ 適応指導教室（あおぞら学園）への通園日数は、指導要録上は出席扱いとなる。
 - ・ 定期的に在籍校と支援方法等を検討する機会を設け、学校復帰へつなげることができた。

2. 居場所（心のかけ橋教室）事業

○事業の内容

- 運営体制 相談員1名・支援員2名
- 開設場所 いっぱ（江津保健センター内）
- 開設状況 曜日：月・水曜日 時間：13：00～16：00
- 主な内容
 - ① 児童生徒への支援
 - ・ 家庭訪問による児童生徒の相談支援
 - ・ 来所した児童生徒に応じた体験活動等による支援
 - ・ 居場所づくり
 - ② 保護者への支援
 - ・ 相談、家庭訪問

- ##### ○事業効果
- ・ 家に引きこもりがちな児童生徒が、外に出るきっかけとなり、居場所づくりとなった。
 - ・ 保護者の抱えている悩みに向き合い、同じ思いで継続して関わることで、児童生徒の心の安定を図ることができた。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
共済費	49,391	雇用保険料・労災保険料
賃金	6,152,878	謝礼金（教科指導員・相談員・指導員・支援員）
旅費	388,580	生徒指導連絡会・他施設との交流会・家庭訪問等
需用費	738,968	消耗品・燃料費・光熱水費
役務費	251,140	電話料・ネット利用料・汲取料・傷害保険料
委託料	993,600	消防設備定期点検委託料・送迎委託料
使用料及び賃借料	70,602	AED借上げ料ほか
備品購入費	15,552	ホワイトボード
合計	8,660,711	

事業名	学校司書等配置事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		学事係		目	02	事務局費	
事業費			10,213,126 円		事業の目的・目標	児童生徒の読書活動の推進及び学校図書館の効果的な活用・運営を図るため、小・中学校に学校司書等の配置を行い、学校図書館機能の充実を目指す。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		4,850,000 円					
	地方債		円					
	その他		5,333,463 円					
	一般財源		29,663 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

市内全小・中学校に学校司書等（司書資格を問わない）を配置し、児童生徒へ本の紹介・アドバイス・リクエストへの対応、読み聞かせ等を行い、学校図書館機能の充実を図る。また、学校図書室を活用した授業の実施のため、教員と連携し資料準備等を行う。

●事業実施校 市内の全小・中学校

- ① ボランティア（6学級未満の学校）【配置時間 1時間/日×5日/週×35週】 2校
江東中学校・桜江中学校
- ② 学校司書等A（6学級～12学級未満の学校）【配置時間 5時間/日×5日/週×35週】 8校
郷田小学校・渡津小学校・江津東小学校・川波小学校・高角小学校・桜江小学校・江津中学校・青陵中学校
- ③ 学校司書等B（12学級以上の学校）【配置時間 6時間/日×5日/週×52週】 1校
津宮小学校

○事業の効果

全小中学校で学校図書館司書等による図書室の利用指導やオリエンテーションを行っており、一斉読書、読み聞かせ、推薦図書を選定紹介など、さまざまな工夫を凝らして読書活動定着に向けた取り組みを行っている。また、図書室や廊下等に本を紹介する掲示をし、学級文庫への貸し出しを行うなどして本を身近に感じられるような取り組みをした。全ての学校が授業に学校図書館を活用する機会を設けており、学校図書館の果たす役割の高さを示している。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
報酬	1,702,800	司書B報酬（1名）
共済費	385,416	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
賃金	7,700,000	司書A賃金（8名）
謝礼金	385,000	ボランティア謝礼金（2名）
旅費	39,910	司書研修（浜田教育センター等）
合計	10,213,126	

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		学事係		目	02	事務局費	
事業費			1,022,000 円		事業の目的・目標	不登校や問題行動等の課題を抱えた児童生徒の背景には、本人の心の問題だけでなく、複雑に絡み合った周囲の環境が影響していることが多いため、児童生徒の心に寄り添い支援するとともに、専門の関係機関と連携して家庭に働きかけ、状況の改善を図ることで健全な育成を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		1,022,000 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 運営体制 スクールソーシャルワーカー 1名
- 配置形態 派遣型
 - ・教育支援センター（あおぞら学園）に配置し、要請のあった学校に派遣し活動する。
- 活用方法 教育委員会の指導主事と連携し、困難な状況を抱える児童生徒を把握するとともに、学校や家庭訪問を通して、状況の改善を図る。
- 主な内容
 - ・問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ
 - ・関係機関等のネットワークの構築、連携・調整
 - ・保護者に対する支援・相談、教職員への情報提供

○事業の効果

- ・問題を抱える児童生徒の家庭を訪問し、学校や適応指導教室へ向かうよう支援した。
- ・学校や関係機関等とのケース会議に参加し、保護者や児童生徒の状況を伝え、環境の改善へつなげることができた。
- ・1人で悩んでいる保護者と向き合い、前向きな気持ちで子どもと接することができるよう支援した。
- ・複雑な背景を抱えている児童生徒の家庭に対して、関係機関と連携し、問題解決のためネットワークづくりを行った。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
賃金	945,000	相談員（1名）賃金
旅費	77,000	家庭訪問・学校訪問・福祉施設訪問
合計	1,022,000	

事業名	指導主事配置事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		学事係		目	02	事務局費	
事業費				12,075,108 円	事業の目的・目標	①生徒指導主事1名を配置し、課題（不登校、いじめ等）を持った児童生徒の支援及び当該学校の支援・指導を行い、健全な学校経営の支援を行う。 ②算数・数学と理科教科の指導主事各1名を配置し、理科・算数を中心に教員の授業力向上を図り、児童生徒の学力向上につなげる。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			7,800,000 円				
	その他			円				
	一般財源			4,275,108 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

業務内容	小学校訪問回数	中学校訪問回数	合計
生徒指導支援の学校訪問	55 回	35 回	90 回
授業力向上の学校訪問	178 回	87 回	265 回

○事業の実績

費目	内容等	決算額(円)
旅費	学校訪問、諸会議、研修等	244,190
消耗品費	教材、初等教育資料等	26,418
負担金補助及び交付金	指導主事3名分派遣負担金	11,804,500
合計		12,075,108

○事業の効果

①学校や教育支援センター等関係機関と連携し、スクールソーシャルワーカーと一緒に課題を持つ児童生徒及びその家族に寄り添った支援をすることができた。

②小中学校へ定期的に訪問し、ねらいや振り返りの必要性、主体的・協働的に学習に関わるための課題の工夫等、授業改善について、指導・助言を行った。

③全国、県学力調査結果の活用について、学力育成担当者会や訪問時に繰り返し説明し、学校へ「授業改善アクションプラン」作成・実践と検証を依頼した結果、授業改善への意識が浸透しつつある。学力育成管理職研修会を開催し、カリキュラム・マネジメントの視点から学校教育課題の解決を行う研修を続けたことにより、組織的な改善が進みつつある。

事業名	小学校管理費（繰越）		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
事業開始年度	平成 28 年度	事業進捗率 100 %		項	02	小学校費
担当部署	学校教育課	管理係		目	01	学校管理費
事業費		4,622,440 円	事業の目的・目標	平成28年3月末で廃校となった跡市小学校において、老朽化が著しく使用できない屋外プールを埋め立て、敷地整備を行うことで、今後の校舎等の有効活用を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	4,622,440 円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

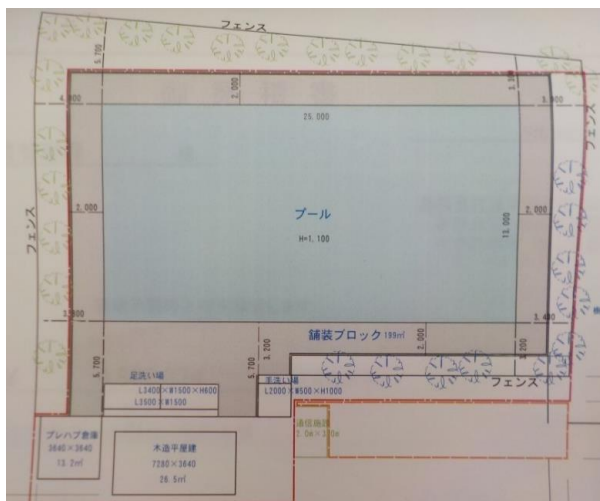
○事業の内容及び実績

●跡市小学校屋外プール跡地整備事業

- 倉庫・更衣室解体 一式
- 植栽伐採 一式
- プール跡地整備 一式

工事請負費 4,622,440円 (平成27年度予算繰越し)

【 計 画 】



【 竣 工 】



○事業の効果

プールが解体されたことにより、敷地が広がり、学校施設の有効活用につながった。

事業名	スクールバス運行事業（小学校）			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	02	小学校費
担当部署	学校教育課		管理係		目	01	学校管理費	
事業費						39,101,118	円	
財源内訳	国庫支出金					4,170,000	円	
	県支出金						円	
	地方債					25,200,000	円	
	その他						円	
	一般財源					9,731,118	円	
				事業の目的・目標	市内小学校の遠距離通学児童の通学手段を確保するため、スクールバスによる送迎を行う。			

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●台数及び運行区域

学校	台数	運行区域
郷田小	2	松川町、川平町
江津東小	2	黒松町、波積町、都治町、後地町、浅利町
川波小	1	有福温泉町
桜江小	4	桜江町
津宮小	※	千田町、跡市町

※津宮小は青陵中学校スクールバスを利用

●経費内訳

・需用費	4,163,125	円	(燃料費、修繕料等)
・役務費	1,029,854	円	(車検手数料、保険料等)
・委託料	25,977,780	円	(スクールバス運行委託料)
・備品購入費	7,743,159	円	(桜江小スクールバス購入費)
・公課費	187,200	円	(自動車重量税)
計	39,101,118	円	

○事業の効果

郷田小学校区、江津東小学校区、津宮小学校区、川波小学校区、桜江小学校区の遠距離通学児童の安全な通学を確保している。



事業名	小学校教育振興費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	小学校費
担当部署	学校教育課		管理係・学事係		目	02	教育振興費
事業費		36,763,513 円		事業の目的・目標	小学校教育の振興のため、経済的事情により就学困難な児童及び特別支援学級へ就学する児童への援助、図書や教材の購入を行う。		
財源内訳	国庫支出金	1,060,792 円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	15,859,935 円					
	一般財源	19,842,786 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

●就学援助事業

区分	決算額 (円)	備考
学用品費等	2,994,626	対象人員 145 人 学用品費・通学用品費・新入学用品費・校外活動費・修学旅行費
新入学用品費 (入学前支給分)	307,050	対象人員 15 人 平成29年度入学予定児童対象
学校給食費	6,949,095	対象人員 142 人
生徒会・PTA会費	550,630	対象人員 142 人
医療費	183,944	対象人員 29 人
特別支援教育費	661,781	対象人員 20 人
合計	11,647,126	

●小学校教育用コンピュータ整備事業

・コンピューター借上料 14,762,142円

●その他

費目	決算額 (円)	備考
報償費	126,150	入学祝い・卒業記念品
需用費	1,247,503	教師用教科書・消耗品
委託費	505,199	配信プリントシステム委託料
備品購入費	8,475,393	図書購入費・教材購入費
合計	10,354,245	

○事業の効果

就学援助における新入学用品費は、これまで入学後に認定し支給していたが、平成29年度入学予定児童に対して入学前支給（平成28年度中）を開始をした。これにより、経済的な理由によって就学困難な世帯の入学時の負担を軽減した。

また、市内7小学校に、パソコン、ソフト等をリースで設置することにより、パソコンの基本操作に慣れ、インターネット等を使って必要な情報を収集して学習に役立て、電子教材を使った授業等により児童の関心を高めることができた。

事業名	スクールバス運行事業（中学校）			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	03	中学校費
担当部署	学校教育課				管理係	目	01	学校管理費
事業費		15,278,300 円		事業の目的・目標	市内中学校の遠距離通学生徒の安全な通学を確保するため、スクールバスによる送迎を行う。			
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	6,700,000 円						
	その他	846,410 円						
	一般財源	7,731,890 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●台数及び運行区域

学校	台数	運行区域
江津中	※	松川町、川平町
青陵中	2	跡市町、千田町、井沢町、清見町、有福温泉町
桜江中	1	桜江町

※江津中は小学校のスクールバスを利用

※H28より青陵中スクールバスにおいて、津宮小学校跡市地区の児童を混乗

●住民利用

・利用車両	桜江中バス
・区間	川戸駅～風の国
・利用者数	3,420 人
・運賃収入	846,410 円

●経費内訳

・需用費	2,468,781 円	(燃料費、修繕料等)
・役務費	209,839 円	(車検手数料等)
・委託料	12,502,080 円	(スクールバス運行業務委託料)
・賃借料	16,000 円	(建物使用料)
・公課費等	81,600 円	(自動車重量税等)
計	15,278,300 円	

○事業の効果

江津中学校区、青陵中学校区及び桜江中学校区の遠距離通学生徒の安全な通学を確保している。
また、桜江地区住民の交通手段を確保することで、日常生活の利便性が図られている。



事業名	中学校教育振興費		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度		事業進捗率	項	03	中学校費
担当部署	学校教育課			管理係・学事係	目	02	教育振興費
事業費		31,762,218 円		事業の目的・目標	中学校教育の振興のため、経済的事情により就学困難な生徒及び特別支援学級へ就学する生徒への援助及び図書や教材の購入を行う。		
財源内訳	国庫支出金	646,208 円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	12,100,000 円					
	一般財源	19,016,010 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

●中学校就学援助事業

区分	決算額 (円)	備考
学用品費等	4,714,150	対象人員 88 人 学用品費・通学用品費・新入学用品費・校外活動費・修学旅行費
新入学用品費 (入学前支給分)	518,100	対象人員 22 人 平成29年度入学予定生徒対象
学校給食費	4,301,400	対象人員 86 人
生徒会・PTA会費	701,630	対象人員 86 人
医療費	49,639	対象人員 12 人
特別支援教育費	626,155	対象人員 12 人
合計	10,911,074	

●中学校教育用コンピュータ整備事業

- ・コンピューター借上料 12,127,536円

●その他

費目	決算額 (円)	備考
報償費	186,225	卒業記念品
需用費	500,009	消耗品・楽器の修繕料
役務費	215,940	桜江中学校遠距離通学生徒定期券代 (JR)
委託費	388,800	配信プリントシステム委託料
備品購入費	7,432,634	図書購入費・教材購入費
合計	8,723,608	

○事業の効果

就学援助における新入学用品費は、これまで入学後に認定し支給していたが、平成29年度入学予定生徒に対して入学前支給（平成28年度中）を開始した。これにより、経済的な理由によって就学困難な世帯の入学時の負担を軽減した。

また、市内4中学校に、パソコン、ソフト等をリースで設置し、パソコンの特性を踏まえ、インターネット等からの情報を学習に有効に役立てた。

事業名	公民館費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率 %		項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	02	公民館費
事業費			9,928,058 円	事業の目的・目標	個人の要望と社会の要請に応えた学びの場を提供する。地域の社会教育施設としての機能を担保するための管理・運営を行う。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		193,415 円				
	一般財源		9,734,643 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容 公民館の管理・運営

○事業費の内訳等

・人件費 7,025,515 円

費目	金額(円)	備考
報酬費	6,163,200	館長、主事
共済費	722,975	雇用保険料、社会保険料、労災保険料
旅費	139,340	職員会議、公民館研究集会等各種研修参加

・物件費 2,578,543 円

費目	金額(円)	備考
需用費	1,488,906	消耗品費、燃料費、光熱水費
役務費	397,496	通信運搬費、手数料、火災保険料
委託料	313,740	消防設備点検、防火対象物点検、浄化槽管理
使用料及び賃借料	272,901	土地借上料、CATV・テレビ視聴料、AEDレンタル料
負担金及び交付金	85,500	県公連負担金、防火管理者研修受講負担金
備品購入費	20,000	パソコン、プリンタ、ガスコンロ、FAX付電話機

・工事費等 324,000 円

	修繕費(円)	修繕内容
渡津公民館		
郷田公民館	324,000	ガラス押さえシーリング打ち替え工事
金田公民館		

○事業の効果 社会教育施設として必要な維持管理と、地域住民の学びをつくるための職員の資質向上のための研修の推奨と、地域コミュニティ組織構築のための支援を行った。

事業名	図書館運営事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	03	図書館費	
事業費					24,758,132 円		事業の目的・目標 市民の文化教養を高めるため、情報化時代にふさわしい多種の図書資料を収集整備し、市民に自由に公平な利用ができる場を提供する。	
財源内訳	国庫支出金				円			
	県支出金				円			
	地方債				円			
	その他				1,999,907 円			
	一般財源				22,758,225 円			

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

費目	金額(円)	備考
報酬	0	図書館協議会委員報酬
旅費	3,900	図書館協議会委員旅費
需用費	1,186,180	光熱水費
修繕料	0	
役務費	12,204	自動車損害保険料
委託料	21,437,000	指定管理料
備品購入費	1,999,907	図書購入費
負担金及び交付金	118,941	島根県公共図書館協議会会費等、川戸駅舎電気料負担金
合計	24,758,132	

●蔵書冊数

区分	蔵書冊数	受入図書	廃棄図書	平成28年度末	蔵書冊数
本館	67,961 冊	2,080 冊	613 冊		69,428 冊
桜江分館	17,404 冊	219 冊	0 冊		17,623 冊
計	85,365 冊	2,299 冊	613 冊		87,051 冊

●利用状況

区分	本館	桜江分館	移動図書	計
開館日数	282 日	265 日	16 回	
入館者数	14,783 人	4,348 人		19,131 人
利用者数	9,262 人	1,702 人		10,964 人
登録者数	1,138 人	304 人		1,442 人
貸出冊数	31,383 冊	4,122 冊	101 冊	35,606 冊

●文化活動

講座等	会員数	開催日数	開催期日または定例日
古文書入門講座	3 人	9 回	毎月第3土曜日 14:00~16:00
古文書を読む会	21 人	10 回	毎月第1土曜日 14:00~16:00
歴史を楽しむ会	12 人	11 回	毎月第2月曜日 14:00~16:00
あすなろ読書会	6 人	4 回	毎月第2木曜日 14:00~16:00
本と子育てを語る会	8 人	5 回	毎月第4日曜日 13:30~16:00
としよ活	延べ52 人	11 回	毎月第3木曜日 19:00~20:30

●その他

・催し

8月7日(日) 江津市図書館まつり 参加者 30人
 5月8日(日) 江津市図書館桜江分館まつり 参加者 45人

・広報活動

図書館報「洗心」・新着図書案内の発行 年12回
 市広報「かわら版」への図書館ガイドを掲載 12回
 ツイッター、防災無線、市HP、新聞イベント欄等での情報発信(随時)

・研修生、実習生、ボランティアの受入れ

職場体験：中学生2名
 ボランティア：読み聞かせ、事務補助(延べ70名)

・学校司書への協力

学校図書館支援図書(県委託)等でのサポート
 市内小・中学校訪問 2/16、20、23、24

○事業の効果

図書館環境整備の充実、文化活動への支援、広報活動等を通じて、市民、利用者への意識が高まり、図書館利用者への増加につながっている。

事業名	人権教育推進事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	人権同和教育課		人権同和教育係		目	04	社会人権・同和教育費	
事業費			425,406 円		事業の目的・目標	人権尊重、自由平等の精神を基盤に人権・同和問題を正しく理解し、市民一人ひとりが、自らの課題として捉え、早期解決が図られるよう「差別しない」「差別させない」「差別は許さない」心情と態度を育てる。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		425,406 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

概 要	決算額
<ul style="list-style-type: none"> ●人権教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・人権を考えるつどい、みんなで考える人権のつどい（巡回講演会） 地域別人権問題研修会、人権・同和教育主任等研究協議会の開催 ・人権啓発展の開催 ●人権教育推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで考える人権のつどいの開催 期間：6月～3月 会場：市内3公民館・18地域コミュニティ交流センター 演題：「暮らしの中の人権～支え合い共に生きる～」 講師：二又 茂樹さん（社会教育指導員） 参加者数延べ：416人 ・地域別人権問題研修会の開催 演題：「生きる」ということ 講師：三浦成人さん（源氏螢の会） ：11月18日 江津中学校 参加者数：240人 ：12月 5日 青陵中学校 参加者数：280人 ：12月 8日 江東中学校 参加者数：70人 ・人権・同和教育主任等研究協議会の開催 期間：6月・11月・2月（年3回開催）（参加者数延べ：100人） 内容：講演・分科会 	252,448
<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発作品展の開催 期間：12月2日～11日 会場：市総合市民センター（エントランスホール） 内容：人権イラスト・作文・メッセージの展示 表彰式：各学校 消耗品費：172,958円（応募作品記念品等） 	172,958
合 計	425,406

○事業の効果

市内全公民館・地域コミュニティ交流センターの巡回講演と地域別人権問題研修会により、より一層の人権教育の推進が図られた。

事業名	社会教育活動費			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	06	社会教育活動費	
事業費				796,653 円	事業の目的・目標	生涯の各時期にわたって幅広く学習活動ができるよう、市民の学習要求を満たし、自己啓発がすすめられる集団学習と地域活動を奨励する。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債			円				
	その他			円				
	一般財源			796,653 円				

施策の内容、実績、及び効果

1 出前講座 96,653 円

○事業の内容

●出前講座

市民が受講したい内容をメニュー表から選び、市職員・公的機関職員等が講師となり地域へ出かけお話しする。

○事業の実績

●実施件数および参加者数

113件 3,789人 (平成27年度 117件 3,263人)

○事業の効果 【受講者・アンケートより】

- ・江津市の史跡、特に町並みなどが立派なのに驚きました。個人的にまた調べて訪れたいと思います。
- ・18歳から投票可能になりましたが、選挙が身近にあるということを改めて感じ、とても良い勉強になりました。自分が投票をするとき、自信を持って出来るよう理解を深めていきたいです。
- ・毛布や布など身近にあるもので担架を作ったり、止血・固定が出来ることが学べて良かったです。災害時にも役に立ちそうだと思います。

○事業費の内訳

印刷製本費 (出前講座メニュー表)	70,200 円
消耗品費	26,453 円
通信運搬費	0 円
計	96,653 円

2 地域活動支援事業 700,000 円

○事業の内容

女性の目から見た地域課題の研修や人づくり・地域づくりのための学習活動で、討議、実験演習、見学など幅広い活動を行う。

○実施主体

江津市連合婦人会、各地域13婦人会

○事業の実績

●実施件数および参加者数

93回 4,310人

○事業の効果

各地区の中核とし、様々な問題に女性の感性である包容力をもち備え「元気・勇気・感動」のいきいきとしたまちづくりに向け、自己研鑽に努め、明るい安全安心な住んで良かったと言える社会づくりの輪を広げる積極的な活動に努めました。特に、前年度より取り組んでおります足し算の省エネの啓発・実践に努める。また防災学習・訓練等会員の一層の向上に尽力しました。そして、次世代につながる「ふるまい向上」推進にむけ活動を展開してまいりました。

○事業費の内訳

委託料 (各地区へ25,000円、連合会375,000円)	700,000 円
-------------------------------	-----------

事業名	ふるさと教育推進事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	06	社会教育活動費	
事業費			1,070,000 円		事業の目的・目標	学校と家庭とが一体となり、ふるさとの人とのふれあい、自然・歴史・文化・伝統行事・産業等の教育資源を活用した授業や地域での体験活動を通し、子どもたちの豊かな人間性や社会性、ふるさとを大切にする心の育成を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		1,070,000 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

全小中学校において実施した。
 地域講師による授業が充実し、長年にわたり積み重ねられた学習が生かされてきた。地域の「ひと・もの・こと」に直接関わりながら、それぞれの学校で独特な活動を展開。
 小学校では主に、地域に出向き、人や自然に触れたり、施設を訪ね現状を見聞きし、地域の人とのふれあいのなかで、自分たちのふるさとについて学ぶ。
 中学校では、地域の課題や社会の問題を知ること、自身の将来設計を考えることにつながり、学習意欲の向上を図る。

○事業の効果

- ・地域とのふれあいで、児童生徒の学習内容の多様化に寄与した。
- ・地域の伝統芸能や、伝統文化の保存・伝承に携わる方に、発表の場を設ける事ができ、今後の活動の活力へつなぐことができた。
- ・ふるさと教育に関わる地域の方も、子どもの成長を目の当たりにして、社会貢献の大切さや、やりがいを実感できた。
- ・ふるさと江津への愛着を深める活動になった。

○事業費

	ふるさと教育の経費(円)		計(円)
	報償費	活動経費	
郷田小学校		70,000	70,000
渡津小学校	20,400	49,600	70,000
江津東小学校	6,000	64,000	70,000
川波小学校		70,000	70,000
津宮小学校		70,000	70,000
高角小学校	21,600	48,400	70,000
桜江小学校	15,000	55,000	70,000
江津中学校		70,000	70,000
江東中学校	16,800	53,200	70,000
青陵中学校	18,000	52,000	70,000
桜江中学校	16,800	53,200	70,000
教育委員会事業費		300,000	300,000
計	114,600	955,400	1,070,000

事業名	学校支援地域本部事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	06	社会教育活動費	
事業費			963,000 円		事業の目的・目標	「学校・家庭・地域」が連携し、地域ぐるみの学校支援体制を構築し、子どもたちの健全な発育に資することを目標とする。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		642,000 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		321,000 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

近年の度重なる青少年の凶悪犯罪や、いじめ、不登校など、青少年をめぐる様々な問題が発生している背景として、地域における地縁的なつながりの希薄化や個人主義の浸透などによる、いわゆる「地域の教育力の低下」が指摘されている。また、学校教育においては、教育活動以外等の業務が増加しており、教員の業務量の増加が問題となっており、教員の勤務負担を軽減するなど、積極的に時間外勤務を縮小し、教員が子ども一人ひとりに対するきめ細やかな指導の時間の確保が課題となっている。

これらを踏まえ、地域全体で「次世代を担う子ども」の学校の教育活動や放課後の活動を支援するため、学校・家庭・地域の連携体制の構築を図り、多様な支援を可能とし、学校・家庭・地域が三位一体となって子どもと向き合う時間の拡充を図る。

○事業の実績

1. 各小中学校における学校支援ボランティアへの取組み

- ①学習支援活動のボランティア紹介、学校に関わる地域の人材ほりだし
- ②部活動指導、クラブ活動指導の人材紹介
- ③登下校時の安全指導員の調整
- ④学校環境整備活動の人員確保
- ⑤放課後子ども教室との連携
- ⑥ふるさと教育の講師・ボランティアの紹介

2. コーディネーター等連絡会議

【第一回：9/30、第二回：10/7、第三回：3/23】

①学校支援地域コーディネーター、放課後支援コーディネーター、親学ファシリテーターの合同連絡会議を開催

3. 各種研修会への参加

- ・支援活動事業数 : 合計 1,323日
- ・参加人数(延べ) : 合計 8,293人

○事業の効果

・地域コーディネーターの活動が、学校の依頼に応えるものだけから、地域コミュニティ組織との連携に向けたコーディネート活動につながりはじめた地域も見られるようになってきた。

・ふるさと教育、放課後支援、キャリア教育にも、コーディネーターが関わるようになり、社会教育事業の核となっている。

○事業費の内訳

費目	教育支援活動の経費(円)	内容
諸謝金	624,400	コーディネート活動謝金
旅費	10,330	研修会、地域協議会出席者旅費
需用費	238,364	会議資料紙代等消耗品
役務費	89,906	ボランティア連絡用切手
計	963,000	

事業名	未来を拓く江津塾事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率 %		項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	06	社会教育活動費
事業費			5,671,000 円	事業の目的・目標	近年、「学力低下」「理科離れ」「教育格差」が課題となっている中、江津市の子どもたちに体験型コンテンツを用いて、江津ならではの特色のある人間力・人材育成を行うとともに、江津の文化や産業及びコミュニティーを支える若者を育てていくため、地域で生まれた子どもは地域全体で育て地域で生かすという「ふるさと教育」の推進を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		5,300,000 円				
	その他		円				
	一般財源		371,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ・ ロット制御を通じて、観察力・問題解決能力・論理的思考法の習得、コミュニケーション能力の向上と語学力の発達を図る。
- ・ 小学生のための楽器体験教室を通して、楽器に親しめる環境をつくり、併せて指導者として中学生を活用して自己有用感・コミュニケーション能力の育成も図る。
- ・ 子ども同士の共同生活や、家庭と離れた生活、親でもなく、教師でもない大人との関わりの場を「通学合宿」のなかで意図的に用意して、学校と家庭の行き来だけでは出来ない体験を創出する。

○事業の効果

- ・ サッカーロボット教室では、プログラミングによるロボット操作を経験し、科学に対する関心を高めることができた。コーチ、役員等には地元の方に協力いただいております。地域の人材による子どもを育てる体制ができています。ロボットサッカー大会は江津ノード、島根県大会、全国大会を経験し、子どもたちにとっての大きな経験と夢を与えた。
- ・ キッズミュージックスクールは、学校以外の場で音楽や楽器に触れることができない、子どもたちへの「セーフティネット」としての役割を果たすことができた。楽器演奏が及ぼす脳の活性化による学力保障も期待ができる。また、指導者として、小学生と関わりが得られる中学生のコミュニケーション能力の育成や自己有用感の醸成にも役立っている。
- ・ 市内全小学校から134名が参加し、児童同士の共同生活が実施され、規則正しい生活習慣や学習習慣が養われ、地域や保護者もボランティアとして参加し、地域での子育ての意識付けができた。

○事業費 NPO法人「てごねっと石見」に委託。 委託料 5,671,000円

費目	金額(円)	備考
給料	1,860,000	指導責任者
賃金	950,800	スタッフ賃金
需用費	687,447	消耗品、光熱水費、修繕料他
報償費	420,000	講師報償費
事業費	1,300,000	通学合宿事業費用
公課費	452,753	
合計	5,671,000	

事業名	放課後子ども教室推進事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	06	社会教育活動費	
事業費			8,069,902 円	事業の目的・目標	学校・家庭・地域社会の連携協力により、子ども達が、健やかに過ごすことができる環境を整備すること。子どもとのふれあいを通じて住民同士のつながりを強め地域力のアップにつなげていくこと。保護者自身も、単に便利なサービスを受取る側に回るのでなく、できるだけ積極的に地域の取り組みに関わっていくこと。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		5,380,000 円					
	地方債		円					
	その他		2,689,902 円					
	一般財源		円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●放課後子どもプラン事業（放課後子ども教室推進事業）

放課後等に地域の公民館等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強・スポーツ・文化活動・交流活動等の取り組みを行う。

○事業の実績

事業名	実施場所	年間実施日数	日数
●郷田っこひろば	(郷田小学校区)		35 日
●アフタースクールまつひらっこ	(郷田小学校区)	〃	2 日
●渡津子どもひろば	(渡津小学校区)	〃	22 日
●江津東すこやか広場	(江津東小学校区)	〃	129 日
●跡市放課後子どもクラブ	(跡市小学校区)	〃	211 日
●波っ子クラブ	(川波小学校区)	〃	10 日
●有福温泉子ども教室	(川波小学校区)	〃	43 日
●都野津子ども教室	(津宮小学校区)	〃	6 日
●二宮集いの家	(津宮小学校区)	〃	247 日
●つのみやっこ広場	(津宮小学校区)	〃	181 日
●角っこひろば	(高角小学校区)	〃	55 日
●川越安心ひろば	(桜江小学校区)	〃	44 日
●桜江小学校放課後子ども教室	(桜江小学校区)	〃	164 日
●お茶のま食堂	(川波・津宮小学校区)	〃	3 日
合計			1,152 日

○事業の効果

- ・学校・家庭・地域が連携することにより、地域で子どもの育ちを支える気運が高まった。
- ・放課後子ども教室に参加する子どもは、上級生に面倒を見てもらったり、上級生は下級生の面倒をみるなど、異年齢間の関わりの中、相互に成長が見られる。
- ・集団で遊ぶことを子どもたちが学び、活発に活動できるようになった。
- ・そうした子どもたちの成長を目の当たりにして、事業に参画する大人も、社会貢献のやりがいや大切さを感じ、今後の地域活動への活力となった。
- ・地域住民の参画：のべ4,016人　子どもの参加：のべ24,220人

○事業費の内訳

費目	金額(円)	内容
報償費	7,206,500	各教室コーディネーター等謝金
旅費	45,140	研修会等旅費
需用費	576,654	各教室消耗品等
役務費	241,608	各教室コーディネーター等保険料
計	8,069,902	

事業名	放課後児童クラブ事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率 %		項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	06	社会教育活動費
事業費		59,436,770 円		事業の目的・目標	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童等に対し、適切な遊び及び生活の場を提供して健全な育成を図る。		
財源内訳	国庫支出金	15,109,000 円					
	県支出金	15,109,000 円					
	地方債	円					
	その他	25,584,426 円					
	一般財源	3,634,344 円					

施策の内容、実績、及び効果

○ 施策の内容、実績

費目	金額(円)	備考
報酬	27,711,379	指導員報酬
共済費	4,472,553	指導員共済費(社会保険他)
賃金	1,767,360	補助員
旅費	138,160	指導員旅費
需用費	1,947,508	消耗品、光熱水費、修繕料他
役務費	387,135	通信費、損害保険料他
委託料	22,622,399	運営委託(桜江、川波、渡津、郷田) 浄化槽管理81,000円ほか
使用料及び賃借料	24,624	C A T V利用料
工事請負費	0	
備品購入費	365,652	高角 エアコン、石油ファンヒーターほか
負担金及び交付金	0	
合計	59,436,770	

3月31日現在

児童クラブ名	入所児童数					
	指導員数	1年	2年	3年	4年～	合計
津宮放課後児童クラブ	7	20	20	13	8	61
高角放課後児童クラブ	5	23	30	4	5	62
江津東放課後児童クラブ	3	11	9	10		30
桜江放課後児童クラブ	5	10	9	10	1	30
渡津放課後児童クラブ	3	16	8	6		30
川波放課後児童クラブ	2	10	5	7	1	23
郷田放課後児童クラブ	2	7	6	16	1	30
計	27	97	87	66	16	266

○ 事業の効果

放課後及び長期休暇中の子どもの安全と健全な育成を推進し、保護者の就業支援に寄与している。

事業名	土曜日の教育支援活動推進事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率 %		項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	06	社会教育活動費
事業費			1,809,641 円	事業の目的・目標	土曜日や長期休暇などに、地域の力を活用して児童生徒の学習を支援する体制を整備すること。児童生徒の学力補償や、学びのセーフティネット対策とともに、地域活動の活性化に資する活動の推進すること。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		1,206,000 円				
	地方債		円				
	その他		円				
一般財源		603,641 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

土曜日や長期休暇などに、地域の力を活用して児童生徒の学習を支援する体制と仕組みをつくり、児童生徒の学力補償や、学びのセーフティネット対策とともに、地域活動の活性化に資する活動を推進する。

- (1) 地域住民が学校施設や公民館等で、児童生徒の宿題や自学の支援
- (2) 地域住民を講師に公民館等で、地域の歴史学習やものづくり

○事業の実績

・都治地区サタデースクール	(江津東小学校区)	年間実施日数	10 日
・浅利地区サタデースクール	(江津東小学校区)	〃	11 日
・渡津地区サタデースクール	(渡津小学校区)	〃	10 日
・郷田地区サタデースクール	(郷田小学校区)	〃	10 日
・松平地区サタデースクール	(郷田小学校区)	〃	9 日
・嘉久志地区サタデースクール	(高角小学校区)	〃	10 日
・和木地区サタデースクール	(高角小学校区)	〃	10 日
・都野津地区サタデースクール	(津宮小学校区)	〃	10 日
・二宮地区サタデースクール	(津宮小学校区)	〃	10 日
・跡市地区サタデースクール	(津宮小学校区)	〃	9 日
・集いの家サタデースクール	(津宮小学校区)	〃	8 日
・有福地区サタデースクール	(川波小学校区)	〃	9 日
・波子地区サタデースクール	(川波小学校区)	〃	10 日
・敬川地区サタデースクール	(川波小学校区)	〃	9 日
・長谷地区サタデースクール	(桜江小学校区)	〃	6 日
・市山地区サタデースクール	(桜江小学校区)	〃	10 日
・川戸地区サタデースクール	(桜江小学校区)	〃	10 日
・谷住郷地区サタデースクール	(桜江小学校区)	〃	10 日
・川越地区サタデースクール	(桜江小学校区)	〃	10 日
合計			181 日

- ・サタデースクールを通して地域と子どもたちのつながりが出来た。
- ・土曜日に学習時間を設けることで休日の学習習慣が身についた。
- ・地域住民の参画：のべ882人　子どもの参加：のべ1,635人

○事業費の内訳

費目	金額(円)	内容
報償費	1,413,600	各教室コーディネーター等謝金
旅費	31,290	研修会等旅費
需用費	236,707	各教室消耗品等
役員費	115,674	各教室コーディネーター等保険料
会場借り上げ料	12,370	研修会会場借上げ
計	1,809,641	

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
事業開始年度	平成 28 年度	事業進捗率 100 %		項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課	文化振興係		目	08	文化財保護費
事業費		30,115,180 円	事業の目的・目標	埋蔵文化財の保護・活用		
財源内訳	国庫支出金	25,299,000 円				
	県支出金	775,000 円				
	地方債	0 円				
	その他	1,588,000 円				
	一般財源	2,453,180 円				

施策の内容、実績、及び効果

○施策の内容

文化財保護法に基づく開発事業に伴う埋蔵文化財の取扱いに係る判断基準に則して、必要な埋蔵文化財調査を実施する。また、出土品を適切に取り扱い、活用に資する。

○施策の実績

●本町川改修工事（発掘調査）

- ・島根県浜田県土整備事務所委託事業（100%補助）
- ・内容：本町川 県単河川緊急整備事業河川改修工事に伴う記録保存を目的とした発掘調査
- ・委託期間：平成28年4月20日～平成29年3月17日
- ・決算額：304,157円（委託金額：300,000円）
- ・共済費：651円、賃金：215,908円、需用費：87,598円

●八神上ノ原Ⅱ遺跡発掘調査事業

- ・国土交通省中国地方整備局浜田河川国道事務所委託事業（100%補助）
- ・内容：一級河川江の川直轄河川改修事業（八神上流地区）に伴う記録保存を目的とした発掘調査
- ・委託期間：平成28年4月28日～平成29年3月31日
- ・決算額：23,076,831円（委託金額：23,059,000円）
- ・共済費：705,908円、賃金：10,853,935円、需用費：719,757円、役務費：7,560円
- ・委託料：1,044,600円、使用料及び賃借料：9,745,071円

●遺跡発掘調査費

- ・国庫補助事業（50%補助）
- ・内容：開発に伴う緊急試掘調査、木製品保存処理
- ・期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日
- ・決算額：4,645,266円（補助金額：2,240,000円）
- ・共済費：8,582円、賃金：2,842,191円、需用費：374,458円、役務費：3,780円
- ・委託料：984,960円、使用料及び賃借料：431,295円

●半田浜遺跡発掘調査

- ・民間委託事業（100%補助）
- ・内容：二宮砂利採取事業に伴う記録保存を目的とした発掘調査
- ・委託期間：平成28年4月18日～平成28年7月29日
- ・決算額：1,588,833円（委託金額：1,588,000円）
- ・共済費：2,730円、賃金：904,101円、需用費：44,802円、委託料：637,200円

●八神・太田農地環境整備事業埋蔵文化財発掘調査報告書作成事業

- ・浜田県土整備事務所委託事業（95%補助）
- ・内容：八神・太田農地環境整備事業に伴う記録保存を目的とした発掘調査
- ・委託期間：平成28年8月19日～平成28年3月24日
- ・決算額：500,093円（委託金額：475,000円）
- ・共済費：721円、賃金：239,166円、旅費：3,300円、需用費：235,781円、役務費：21,125円

○施策の効果

- ・開発に伴う発掘調査、及び緊急試掘調査に関しては、事業者・住民と協議を重ねて文化財保護行政についての理解を得、当初定められた期間内に100%実施することができた。
- ・調査の内容については、専門職員が図面・写真を中心とした詳細記録を作成することで、次年度の本報告書の作成を含め、今後の活用に資することができた。
- ・調査の成果は、年間12件の出前講座で、市内の埋蔵文化財に関する住民への啓発活動を行った。

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業 (森原上ノ原遺跡発掘調査事業)(繰越)		予算 科目	会計	01	一般会計	
				款	10	教育費	
事業開始年度	平成 27 年度	事業進捗率		100 %	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課	文化振興係		目	08	文化財保護費	
事業費		11,463,874 円		事業 の 目的 ・ 目標	八神・太田地区農地環境整備事業に伴い 発見された森原上ノ原遺跡について、発 掘調査を実施し、埋蔵文化財の適切な保 存を行う。		
財 源 内 訳	国庫支出金	円					
	県支出金	10,886,874 円					
	地方債	円					
	その他	577,000 円					
	一般財源	円					

施策の内容、実績、及び効果

○施策の内容

開発事業に際し、事業地内の埋蔵文化財に適切な保護処置を施す。
江津市松川町地内における農地環境整備事業(ほ場整備)に伴い確認された埋蔵文化財について、適切な保存(記録保存)を実施した。

○施策の実績

●森原上ノ原遺跡発掘調査事業

- ・ 浜田県土整備事務所委託事業 (95%補助)
- ・ 内容：開発に伴う記録保存を目的とした発掘調査
- ・ 委託期間：平成27年9月18日～平成28年12月26日 ※繰越事業としてH28年度継続調査
- ・ 決算額：平成27年度 6,290,132円 平成28年度(繰越) 11,463,874円 決算総額 17,754,006円
- ・ 委託金額 16,862,500円 ※H28年度に継続事業として実施しており、委託事業としては年度を跨いでいる。

平成27年度

費目	金額(円)	備考
共済費	13,493	労災保険料
賃金	4,468,926	作業員賃金
需用費	130,085	消耗品、光熱水費、燃料費他
役務費	3,402	仮設トイレ汲取り手数料
委託料	964,197	測量・空撮業務委託料
使用料及び賃借料	710,029	発掘調査資材賃貸借
平成27年度 合計	6,290,132	事業費残額 11,463,874円は平成28年度へ繰越

平成28年度(繰越)

費目	金額(円)	備考
共済費	261,894	労災保険料、雇用保険料、社会保険料
賃金	5,970,442	作業員賃金、調査補助員賃金、事務補助員賃金
旅費	4,000	調査指導旅費
需用費	549,851	消耗品、光熱水費、燃料費他
役務費	19,075	仮設トイレ汲取り手数料、切手代
委託料	3,443,840	業務委託料(測量、重機掘削他)
使用料及び賃借料	1,214,772	発掘調査資材賃貸借、コピー機使用料
平成28年度 合計	11,463,874	

事業費総額

平成27年度	6,290,132 円	内 浜田県土整備事務所委託事業費 5,975,625円
平成28年度(繰越)	11,463,874 円	内 浜田県土整備事務所委託事業費 10,886,875円
総事業費	17,754,006 円	委託金額 16,862,500円

○施策の効果

調査の成果は、文化財保護思想の普及啓発のため、現地説明会を開催し周知した。また、報道各社に情報提供を実施し、成果の公表を行った。調査の結果として得られた地域の具体的な歴史については、江津市出前講座等を利用し、市民等へ広く情報提供を実施するとともに、市民・研究者からの問合せに対し、適切な対応をするための資料として活用している。

事業名	水の国管理事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	05	社会教育費
担当部署	社会教育課		文化振興係		目	09	生涯学習施設管理費	
事業費		12,226,835 円		事業の目的・目標	市民の文化意識を啓発し、創造力、鑑賞力の向上に努め、文化活動の振興を図る。			
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他	701,090 円						
	一般財源	11,525,745 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

区分	決算額(円)	備考
水の国・松林宗恵映画 記念館業務委託事業	指定管理料	11,746,000 人件費、光熱水費、設備保守等
	指定管理料(企画展示)	450,000 展示イベント等
	小計	12,196,000
一般管理費	役務費	27,835 火災保険料等
	負担金	3,000 しまねミュージアム協議会負担金
	小計	30,835
合計	12,226,835	

●入館者及び入館料

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入館者(人)	144	558	134	217	589	212	129
入館料(千円)	50.1	125.9	45.8	69.7	175.6	65.4	46.6
区分	11月	12月	1月	2月	3月	計	
入館者(人)	66	24	23	21	133	2,250 人	
入館料(千円)	19.8	8.6	8.1	7.8	42.8	666.2 千円	

松林宗恵映画記念館入館者数 2,391人

●事業報告

- ・ふるさと市 5月3日
- ・野点 5月21日
- ・水の国ミュージックフェスタ 5月29日
- ・鮎のつかみ取り・森林教室 8月14日
- ・江ノ川の局地気象「うん、かい？」 10月8日～12月25日

○事業の効果

各種事業を年間を通じて開催することにより、集客に一定の効果が図られた。

事業名	学校給食費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	06	保健体育費
担当部署	学校教育課		管理係		目	02	学校給食費
事業費			103,379,779 円	事業の目的・目標	安全安心で栄養バランスを考慮した給食を提供することによって、児童生徒の健全な成長と、食の重要性、食に関する情報発信等の食育の推進に資することを目的とする		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		99,250 円				
	一般財源		103,280,529 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

	学校名	実施日数（日）	実施食数（食）
配食実績	郷田小学校	183	22,558
	渡津小学校	186	21,594
	江津東小学校	189	24,251
	川波小学校	189	18,627
	津宮小学校	188	66,766
	高角小学校	188	51,056
	桜江小学校	192	21,698
	江津中学校	185	43,793
	江東中学校	189	13,286
	青陵中学校	179	49,935
	桜江中学校	194	14,415
	江津幼稚園	132	6,687
	江津学校給食センター	200	4,683
	桜江学校給食センター	199	1,000
		合計	2,593

○事業の実績

費目	内容等	決算額（円）
報償費	謝礼金	7,500
旅費	旅費	10,440
需用費	光熱水費、消耗品費、修繕料等	26,717,465
役員費	電話料等	1,723,738
委託料	給食車運転業務委託料等	10,861,560
使用料及び賃借料	C A T V、印刷機使用料等	318,491
備品購入費	調理用備品等	386,922
負担金補助及び交付金	学校給食会運営費	63,224,263
公課費	給食車重量税	129,400
	合計	103,379,779

○事業の効果

衛生管理の徹底がいつそう向上するように、調理員への指導・研修等、また、厨房機器の修繕等を行い、安全安心で栄養バランスを考慮した給食を提供することにより、児童生徒の健全な心と体の発育の一助に寄与することができた。

また、食物アレルギーのある児童生徒に対しては、アレルギー対応食の提供を行っているが、原因となるアレルゲンの種類の多様化等により対応が複雑化していることを鑑み、ガイドラインを策定し、安全性を最優先した対応に見直しを行った。